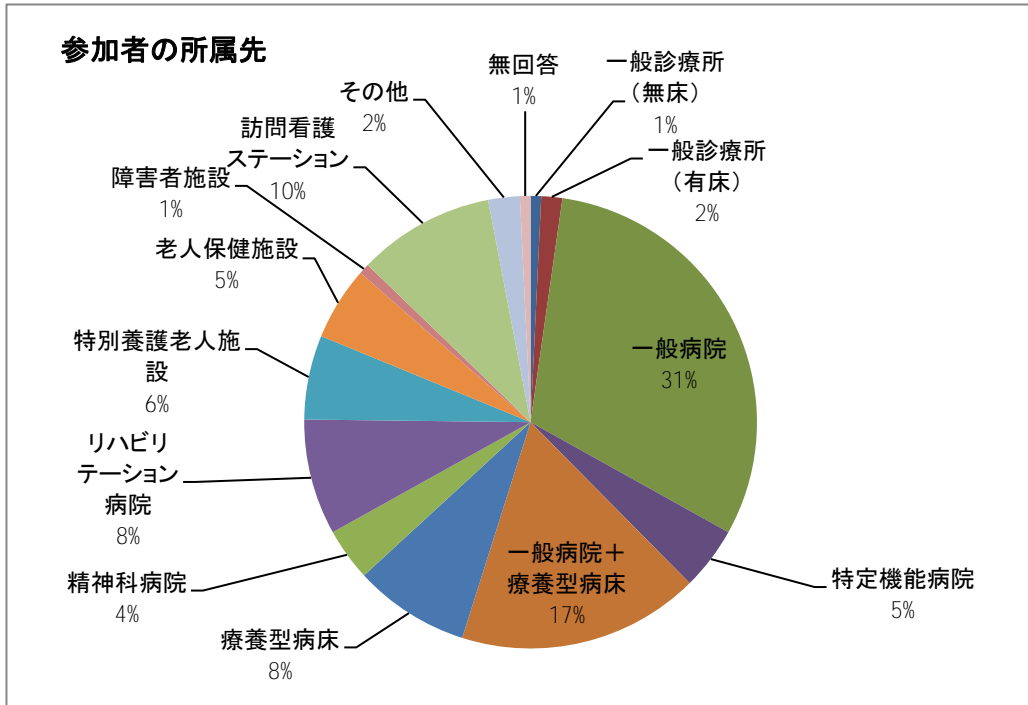


愛媛県中予地区PDNセミナー・アンケート結果

平成22年1月31日
(サンプル数133)

I. 参加者のプロフィール

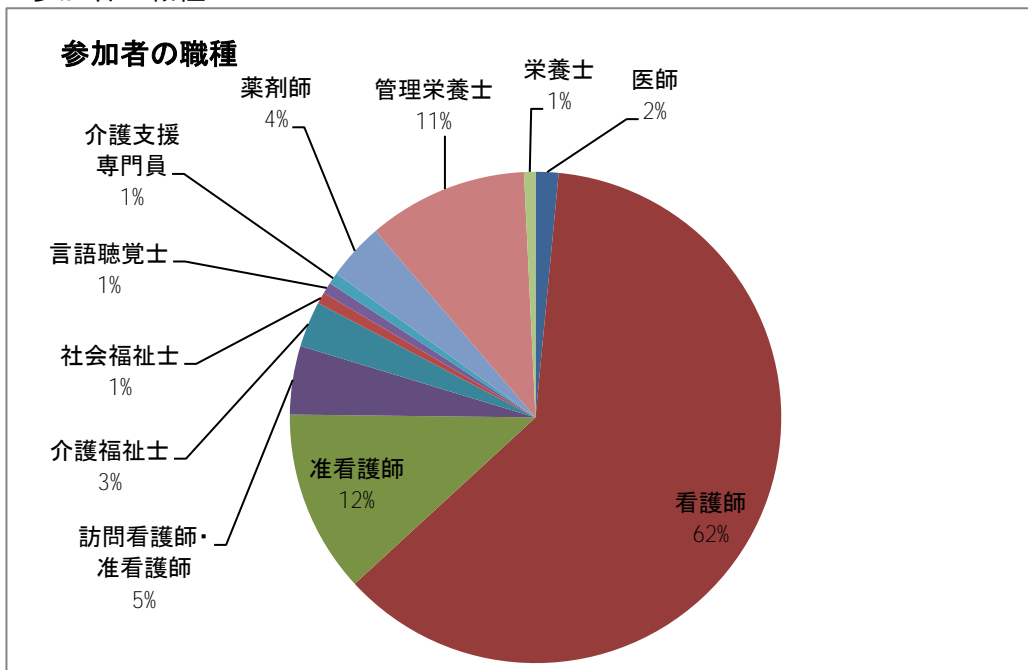
■参加者の所属先



その他：通所介護

N=133

■参加者の職種



N=133

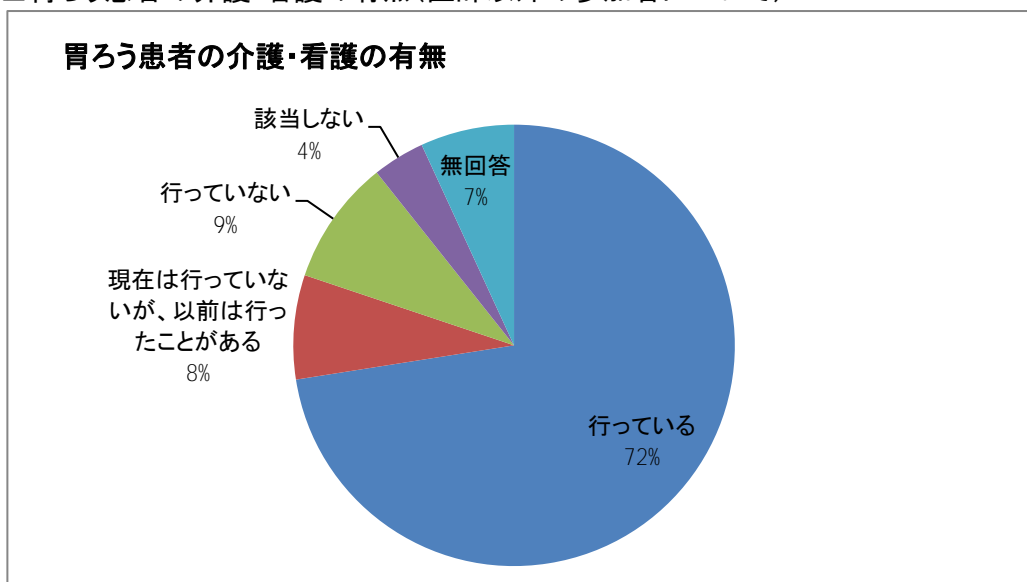
■所属先の所在地

N=133

市、郡	松山市	伊予市	西条市	今治市	大洲市	上浮穴郡	新居浜市
人数	78	9	9	7	3	3	2
%	58.6%	6.8%	6.8%	5.3%	2.3%	2.3%	1.5%

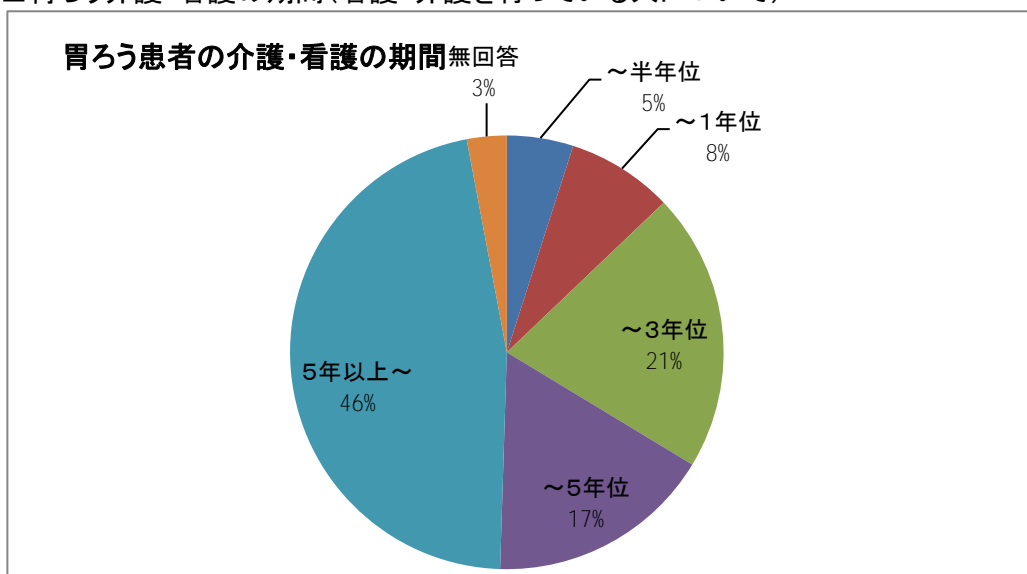
宇和島市	西与市	東温市	愛媛県	無回答	合計
1	1	1	4	15	133
0.8%	0.8%	0.8%	3.0%	11.3%	

■胃ろう患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=131

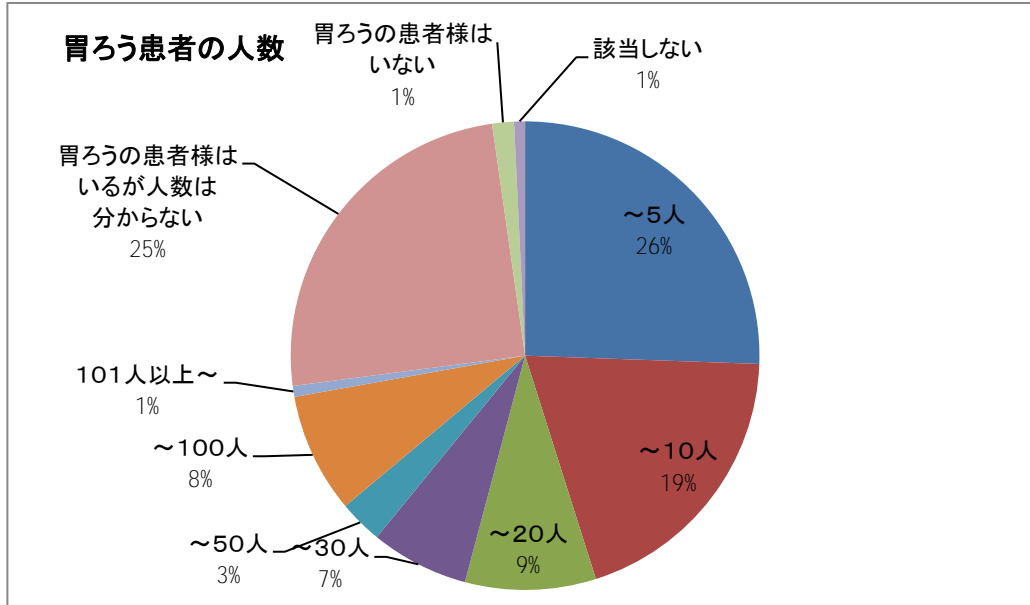
■胃ろう介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=101

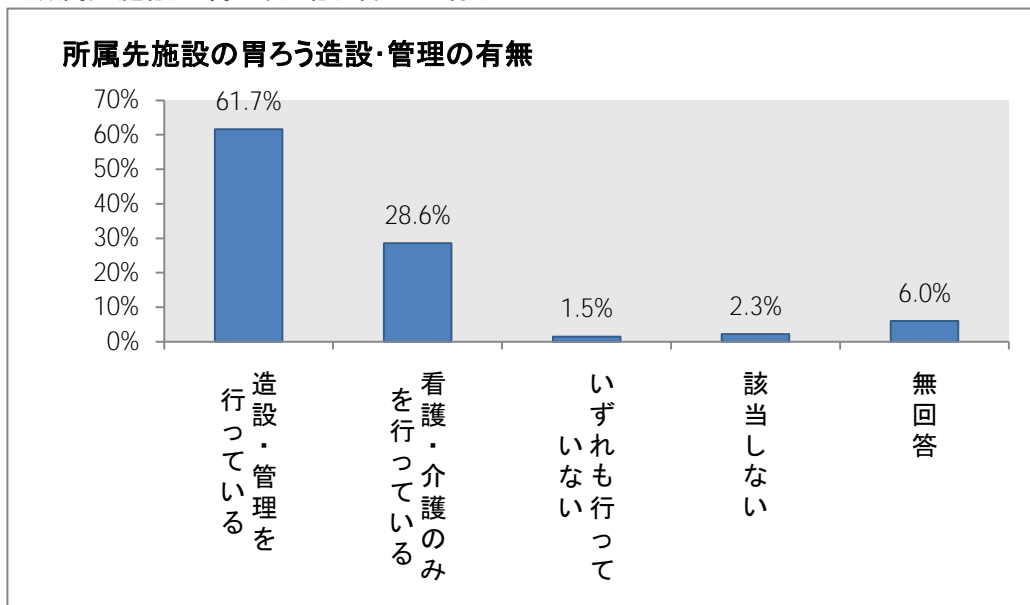
Ⅱ. 所属先施設の胃ろうの現状

■ 所属先施設の胃ろう患者の人数



N=133

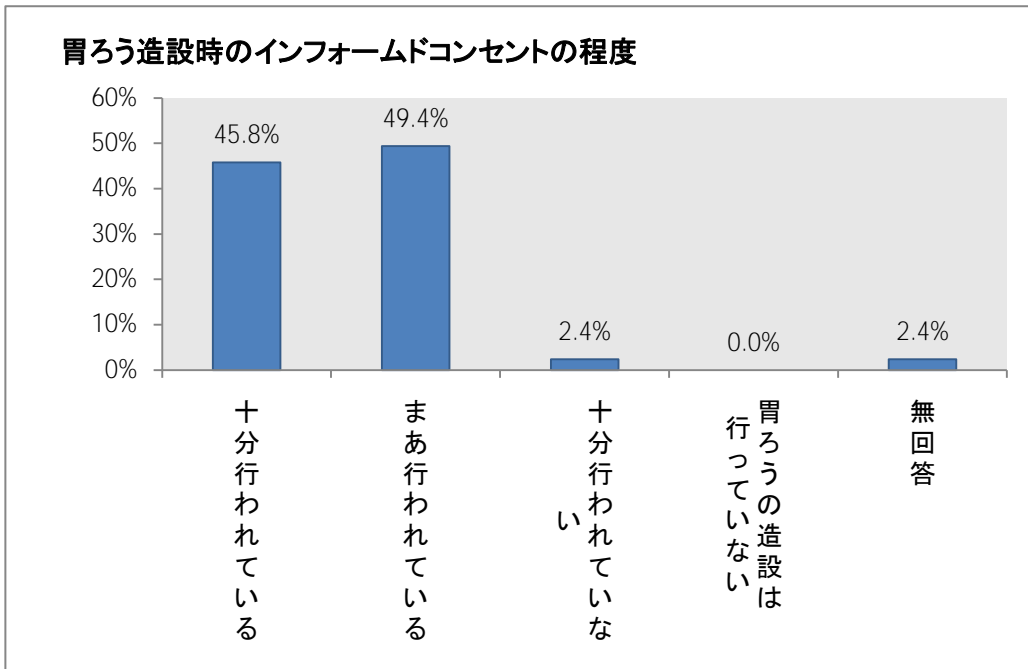
■ 所属先施設の胃ろう造設・管理の有無



N=133

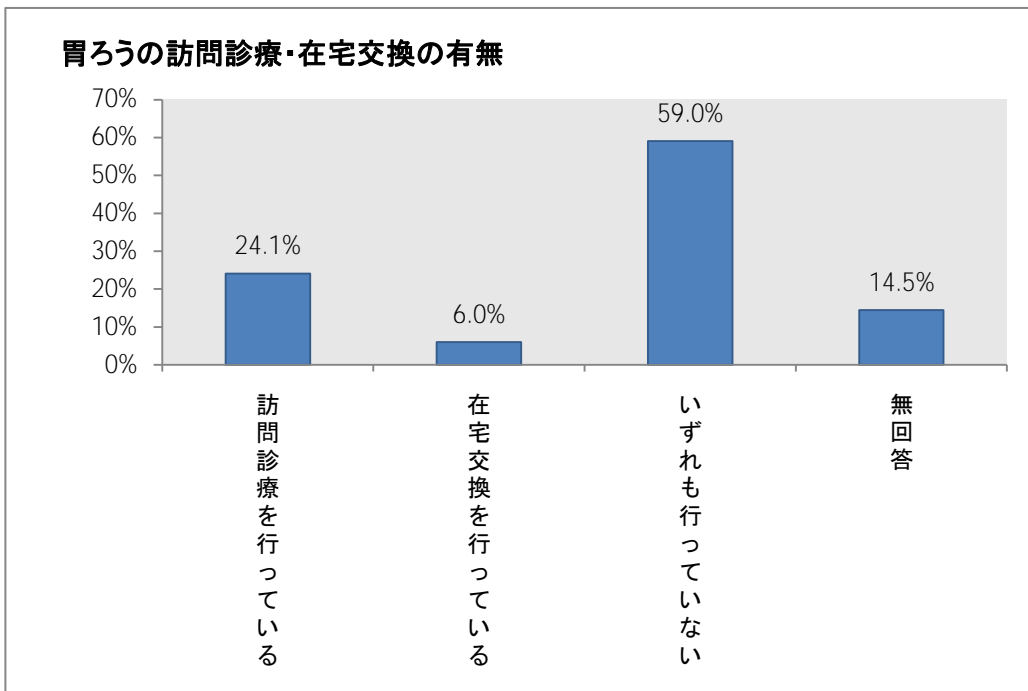
■ 胃ろう造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先が胃ろうの造設・管理を行っている参加者について)



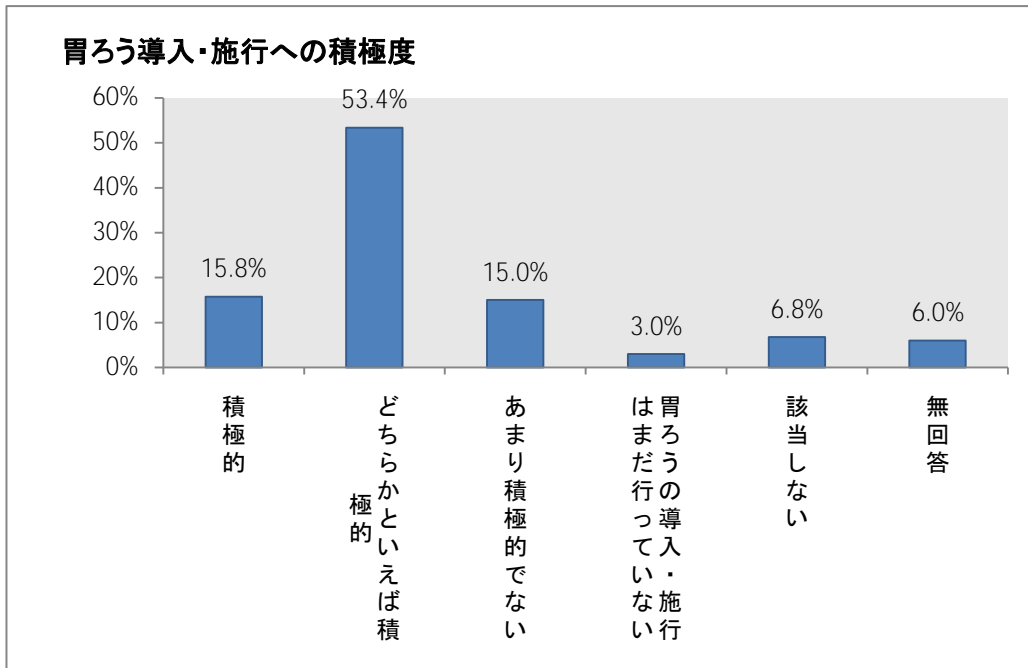
N=83

■ 所属先施設の胃ろうの訪問診療・在宅交換の有無



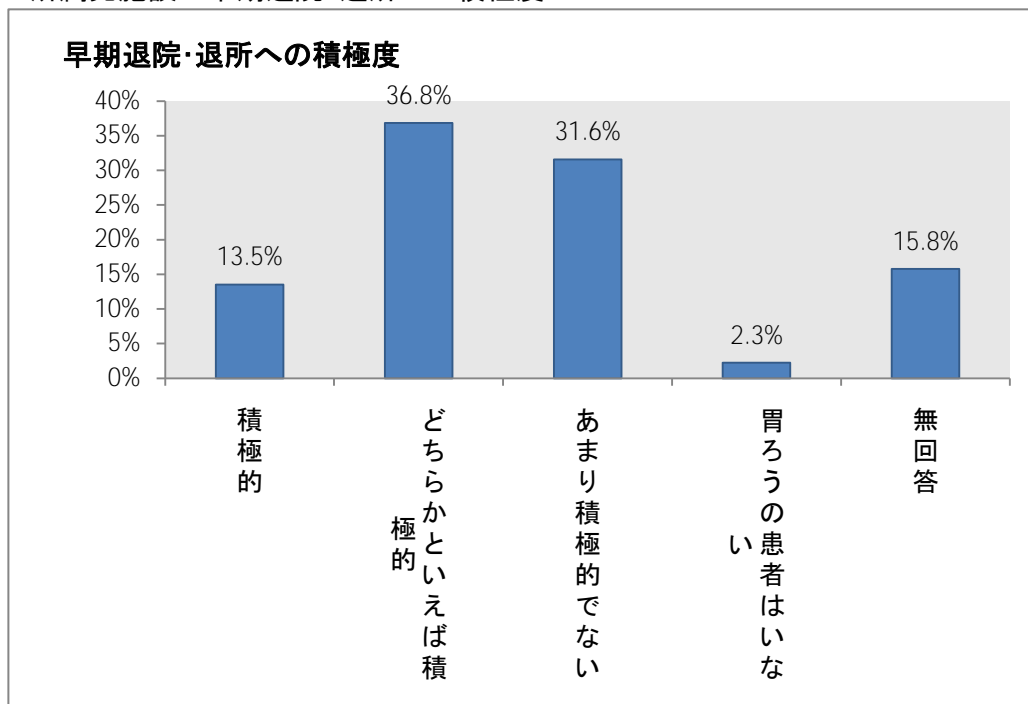
N=83

■所属先施設の胃ろう導入・施行への積極度



N=133

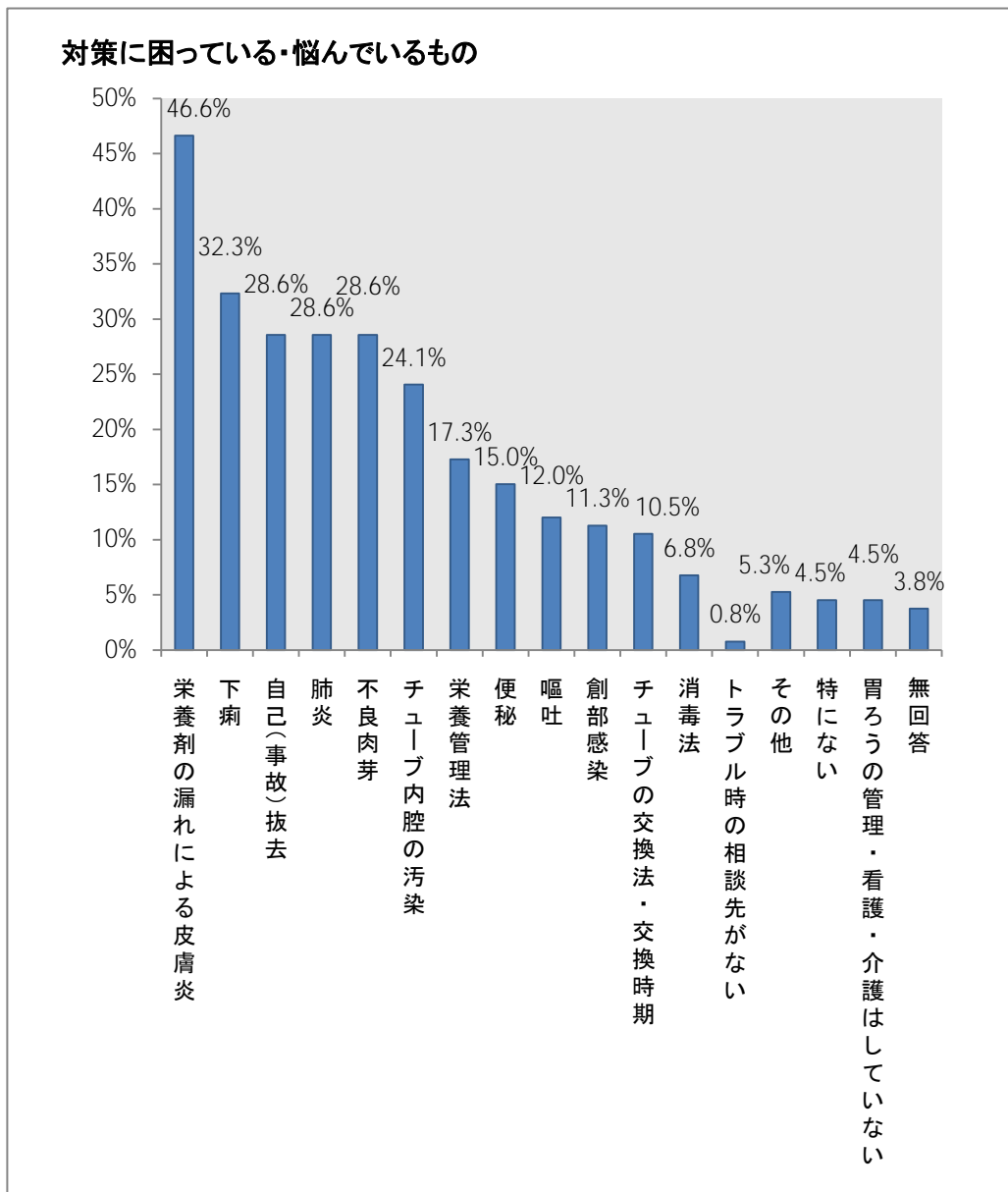
■所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=133

Ⅲ. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

■ 対策に困っている・悩んでいるもの



N=133

その他: 在宅後の管理など指導。

胃ろう患者の受け入れ先が最近少ない。

長く使用していると弁が効きにくくなり逆流する(患者の腹圧による)。

交換時に次回の交換予定を用紙で伝達しているが、反応がない場合の連絡が十分にできていない時もある。すでに他界されていたりと、管理が困難になる。

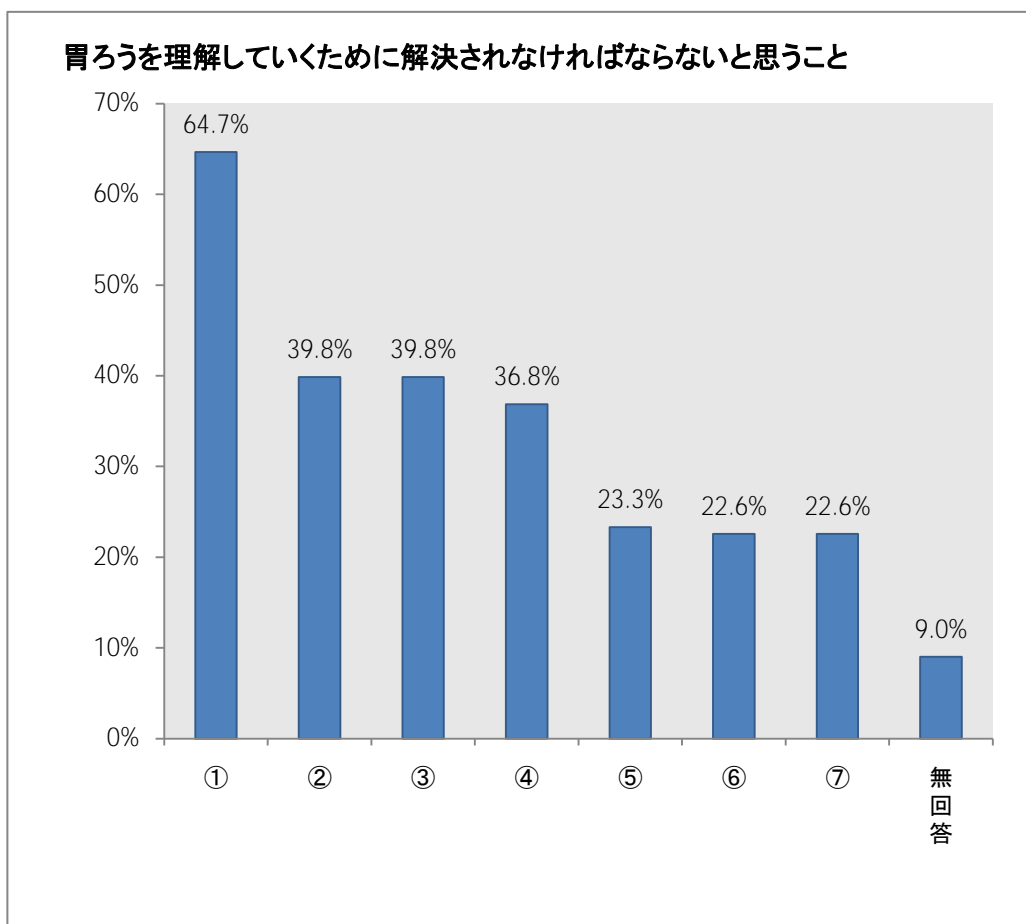
認知症で摂食困難となった方のPEGの適応。患者または介護者にとって、はたしてQOLの改善につながるのか？

長時間注入するときに、ギャジアップの角度や体位変換の徹底がなされない、または医師が角度についての理解がないために、角度を低くできないまますすめるため、褥瘡が発生してしまうケースが見られることで困っている。

IV. 胃ろうをもっと理解していくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

■ 胃ろうを理解していくために解決されなければならないと思うこと



N=133

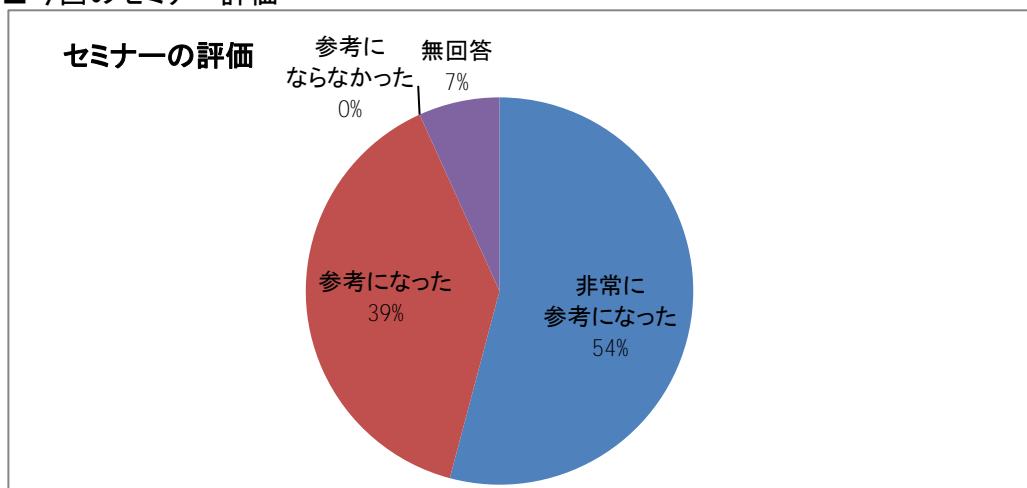
①	胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	64.7%
②	胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	39.8%
③	食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみることに。	39.8%
④	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	36.8%
⑤	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	23.3%
⑥	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	22.6%
⑦	胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	22.6%

無回答

9.0%

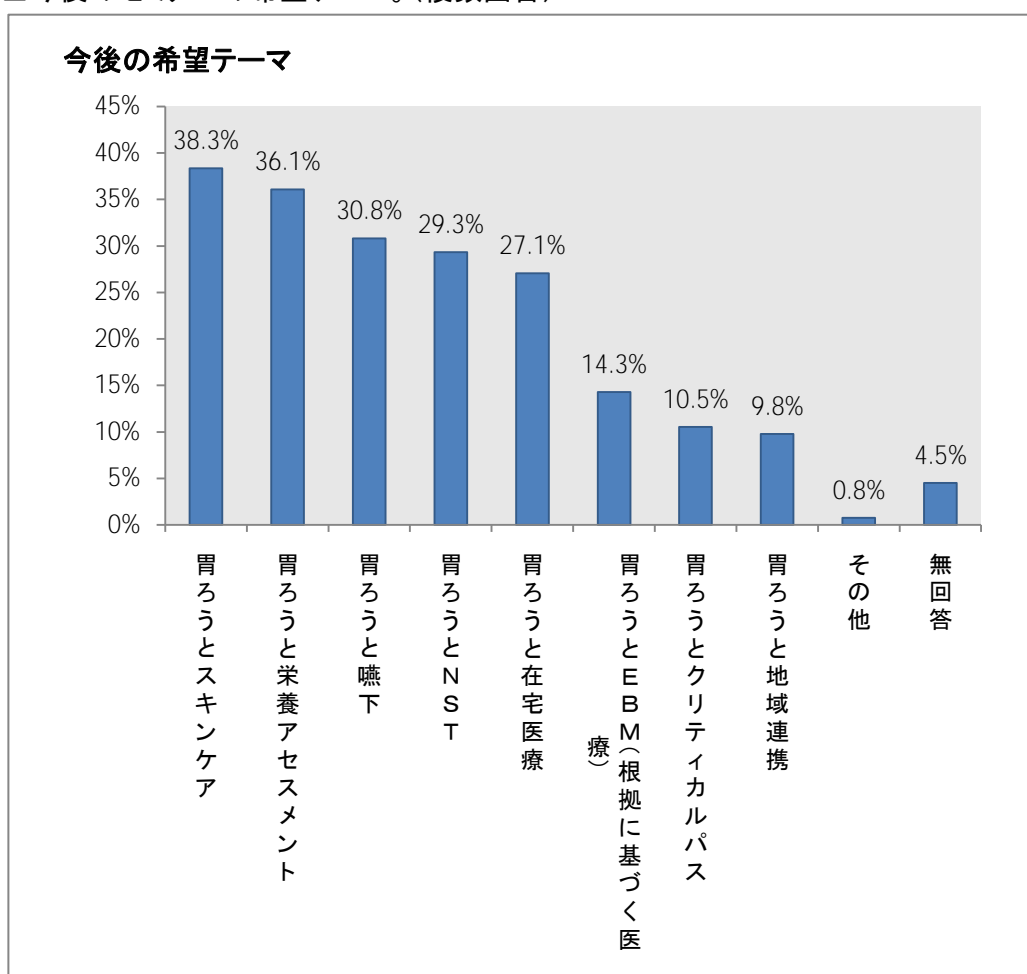
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=133

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)

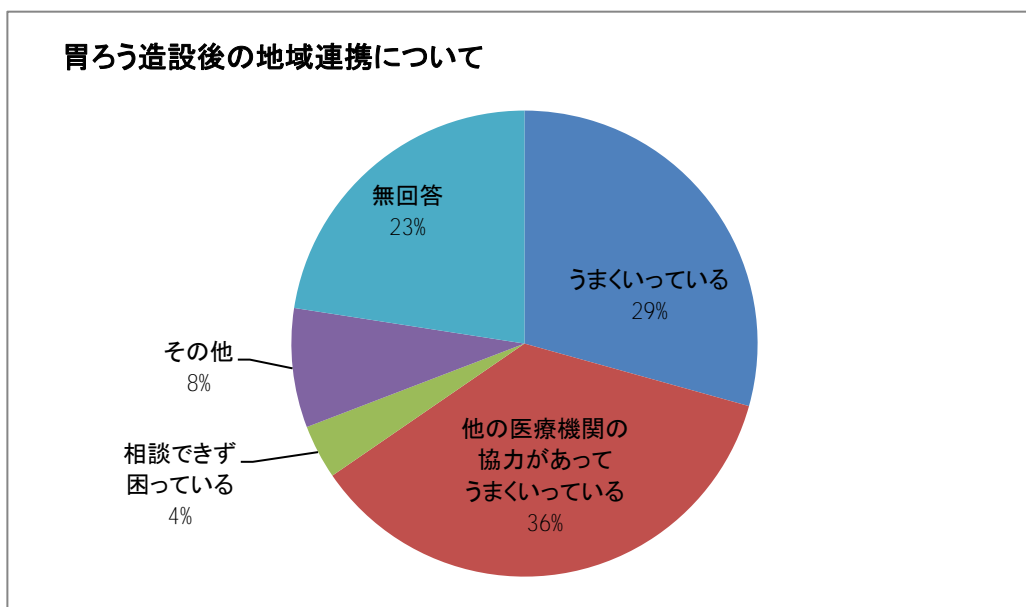


N=133

その他：合田先生の講演をもっと詳しく御願います。

VI. 地域連携について

■ 胃ろう造設後の地域連携について



N=133

その他: わからない。

施設の職員さんと話すのとれず困っている。
受け入れ制限やTPN方針がありPEG推進も難しい。
当院での造設Dr.は、ほぼ当院での交換を行っている。
施設との連携はまずまず。とれていたりとれていなかったりする。
造設後、受け入れてくれる施設が少なくなったと地域連携室より聞いている。
誤嚥性肺炎を繰り返し入院をしてくる患者が多い。地域連携、在宅時の情報が少ない。
サマリー等に記入しているが、その後、問合せ等もないので、うまくいっているのか不明。
病院側は在宅への移行に無関心なことが多い。問合せをすれば答えていただけるという状態です。
外来で(在宅患者)PEG交換を施行している、また、レスパイト入院の時期に合わせて、入院時に施行している。
今後、行っていく予定。造設先の病院に退院時の情報提供(胃ろうチューブの商品名、Fr. など)、抜去時の対応などを聞いていく。
胃ろう患者の受け入れ先が少ない。介護施設では胃ろう患者であふれ、いくところがない。何のための胃ろう造設? 注入が医療職限定では今後胃ろう患者があふれる。在宅は介護力がなく無理。連携を取る以前の問題。

VII. 自由回答意見

問. 胃ろうの理解やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ 特別講演は楽しかった。
- ・ 時間調整を御願いたい。
- ・ 貴重な講演ありがとうございました。
- ・ また今日のようなセミナーを行って欲しい。
- ・ とてもいいセミナーでした。続けて欲しいです。
- ・ 参考にこれからの看護に役立てていきたいと思います。
- ・ このような多くの機会の場を与えていただけると勉強になります。
- ・ 合田先生の話には目からうろこでした。もっと早く聞けたらよかったです。
- ・ 16時までとなっているのに初めから過ぎるのがわかっているのはおかしい。時間を守って欲しい
- ・ 合田先生のお話を聞いていろいろな疑問が解決しました。合田先生の講義の資料が欲しかったです。
- ・ 新しい発見も多く、今後の活動に対し、続けて参加したいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 今までテキストどおりの考え方しか出来ていませんでしたが、今回の講義を受けて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 合田文則先生の話が分かりやすく面白かったです。また受講したいと思います。今後ご指導宜しく御願いたいです。御願います。
- ・ 胃ろう造設しても受け入れ先が困難な実情があります。理解やセミナーの充実、発展によって、今後受け入れ先の施設が増える事を望みます。
- ・ 胃ろう造設後の受け入れ施設が愛媛では少ないと聞きました。MAPなど把握できれば発表して欲しい。在宅で困っているときの相談窓口など知りたい。
- ・ 3年前までは胃ろう造設目的で入院、内視鏡室での施行で実際に見たことなく、今回の病院で胃ろう造設の機会が多くトラブルも何回か経験し、便利さもさることながら、怖さも理解している。今回ペグのトラブルの原因等よく理解でき、少し不安が除去できたと思う
- ・ 夫(長期入院中)が胃ろうです。取替え後、前回のと形が変わっていると思ったのですが、種類があることがわかりました。家族としては、形が変わるだけでも、どうしてなのか？病状に変化があったのか？と思います。病院側から説明があれば安心するのにと思いました。

愛媛県中予地区PDNセミナーアンケート

回収サンプル数:133

回答番号：回答内容：実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：1(2)一般診療所（有床）：2(3)一般病院：41(4)特定機能病院：6(5)地域医療支援病院：0(6)一般病院＋療養型病床：23(7)療養型病床：11(8)脳神経外科病院：0(9)精神科病院：5(10)リハビリテーション病院：11(11)特別養護老人施設：8(12)老人保健施設：7(13)有料老人施設：0(14)障害者施設：1(15)訪問看護ステーション：13(16)居宅支援事業所：0(17)在宅介護老人支援センター：0(18)歯科診療所：0(19)その他：3 無回答：1

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：2(2)看護師：82(3)准看護師：16(4)訪問看護師・准看護師：6(5)介護福祉士：4(6)作業療法士：0(7)理学療法士：0(8)社会福祉士：1(9)臨床心理士：0(10)言語聴覚士：1(11)介護支援専門員：1(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：0(13)薬剤師：5(14)管理栄養士：14(15)栄養士：1(16)歯科医師：0(17)歯科衛生士：0(18)その他：0 無回答：0

〔医師以外の参加者に対して N=131〕

Q3. あなたは、現在、胃ろうの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：95 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある：10
(3)行っていない：12 無回答：5

N=101

Q4. 胃ろうの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位：5(2)～1年位：8(3)～3年位：21(4)～5年位：17(5)5年以上～：47 無回答：3

〔医師に対して N=2〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：1(2)内科：1(3)内視鏡科：0(4)その他：0 無回答：0

Q6. 先生が胃ろうの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前：1(2)～5年位前：0(3)～10年位前：1(4)10年以上前～：0(5)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q7. 胃ろうを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：2(2)認知症：2(3)神経疾患：2(4)呼吸器疾患：1(5)外傷：0(6)癌：0(7)その他：0(8)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：0(2)ない：2(3)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q9. 貴院では、一年間に、胃ろうの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：0(2)～20件：0(3)～30件：2(4)～40件：0(5)～50件：0(6)51件以上～：0(7)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

〔以下、全員に対して N=133〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設には胃ろうの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：34(2)～10人：26(3)～20人：12(4)～30人：9(5)～50人：4(6)～100人：11(7)101人以上～：1(8)胃ろうの患者様はいるが人数は分からない：33(9)胃ろうの患者様はいない：2 無回答：1

Q11. 御施設では、胃ろうの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：82 (2)看護・介護のみ行っている：38
(3)いずれも行っていない：2(4)該当しない：3 無回答：8

〔N=83〕

Q12. 御施設では、胃ろうの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:38(2)まあ行われている:41(3)十分行われていない:2(4)胃ろうの造設は行っていない:0
無回答:2

Q13. 御施設では、胃ろうの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1)訪問診療を行っている:20(2)在宅交換を行っている:5(3)いずれも行っていない:49 無回答:12

[N=133]

Q14. 御施設は、胃ろうの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1)積極的:21(2)どちらかといえば積極的:71(3)あまり積極的でない:20(4)胃ろうの導入・施行はまだ行っていない:4(5)該当しない:9 無回答:8

Q15. 御施設は、胃ろうの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1)積極的:18(2)どちらかといえば積極的:49(3)あまり積極的でない:42(4)胃ろうの患者はいない:3 無回答:21

Q16. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1)自己(事故)抜去:38(2)肺炎:38(3)嘔吐:16(4)下痢:43(5)便秘:20(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:62(7)不良肉芽:38(8)創部感染:15(9)チューブの交換法・交換時期:14(10)チューブ内腔の汚染:32(11)消毒法:9(12)栄養管理法:23(13)トラブル時の相談先がない:1(14)その他:7(15)特にない:6(16)胃ろうの管理・看護・介護はしていない:6 無回答:5

Q17. 胃ろうをもっと理解していくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

① 胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	86 64.7%
② 胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	53 39.8%
③ 食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみる。	53 39.8%
④ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	49 36.8%
⑤ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	31 23.3%
⑥ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	30 22.6%
⑦ 胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	30 22.6%
	無回答 12 9.0%

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:72(2)参考になった:52(3)参考にならなかった:0 無回答:9

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1)胃ろうと嚥下:41(2)胃ろうと栄養アセスメント:48(3)胃ろうとスキンケア:51(4)胃ろうと在宅医療:36(5)胃ろうとNST:39(6)胃ろうとクリティカルパス:14(7)胃ろうと地域連携:13(8)胃ろうとEBM(根拠に基づく医療):19(9)その他:1 無回答:6

Q20. 造設後の連携はうまくいっていると感じますか？(ひとつだけ)

(1)うまくいっている:39(2)他の医療機関の協力があつてうまくいっている:48(3)相談できず困っている:5(4)その他:11 無回答:30

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. 胃ろうの理解やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？